

はるまち しらきよ
基幹種雄牛「春待白清」が誕生

畜産研究所

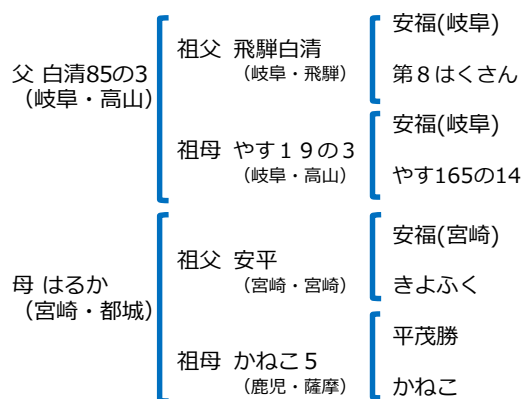
「春待白清」は兵庫系を代表する「白清85の3」と「安平」の血統を引き継ぐ種雄牛であり、平成30年2月に青森県基幹種雄牛として認定されました。

春待白清の特徴

- ◆ 父は和牛ブランド「飛騨牛」の中心的存在である岐阜県の名牛「白清85の3」、母の父も宮崎県の名牛「安平」であり、肉質に優れた改良効果を示します。
- ◆ 兵庫系の近親交配により作出された種雄牛であり、「第1花国」等の島根系の雌牛だけでなく、鳥取系の雌牛への交配でも高い枝肉成績が期待できます。
- ◆ 胸や背中幅があり、繁殖雌牛としての体型面における改良にも期待が持てます。



春待白清の血統



春待白清の検定成績

項目	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ³)	バラの厚さ (cm)	脂肪交雑 (BMS No.)	上物率 (%)	5等級率 (%)
春待白清の平均値	456.1 (23位)	61.4 (8位)	7.9 (14位)	7.4 (3位)	78.9 (4位)	47.4 (3位)
検定済種雄牛の平均値	439.2	54.4	7.5	5.5	50.4	16.8

種雄牛70頭における順位

- ◆ 肉質最高ランクのA-5等級は、19頭中9頭と多く、基幹種雄牛の指定基準である40%以上でした。
- ◆ 枝肉重量に関しては、同じ兵庫系の種雄牛である「優福栄」や「平安平」を上回りました。

春待白清の凍結精液は平成30年4月から販売を開始しています。他の基幹種雄牛や検定状況に関しては畜産研究所ホームページを参考にしてください。
<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=1182>



お問い合わせ

畜産研究所 和牛改良技術部(Tel 0173-26-3153)

あおもりの未来、
技術でサポート



青森
産技